

西濃地区の第1回自然観察会を終えて（お礼挨拶）

各位

西濃の地について、平野部は古より広く安八郡のなかにあり、関ヶ原を抜けて東国に向かう中山道はじめ陸路と伊勢湾と結ぶ水路の人流・物流の結節地でもあります。安八は元来「あはち」、水辺の冬鳥、トモエガモをハジと呼んだことに由来するといわれています。弥生時代から低湿地に開田し、洲が巡る湿田、水辺の植生、ヤナギ・ハンノキ・エノキ等の森が覆う水郷に多くのカモ達が飛来していたことでしょう。西濃の山地、西の伊吹山、北の能郷白山、東の遠くは御嶽山を背景として、この光景を歴史の往路を行き交う人々、牛馬もよく目にし、自噴井の水で喉を潤したことでしょう。

曾根の池の堤防は古大垣輪中提の北東隅にあたり、北は平野庄、南は大井庄の境目にあたります。輪中堤の外法（東側）沿いを流れる川は平野井川で、揖斐川右岸の支川です。平野井川の水源は氾濫原地帯の雨水と自噴水、そして人工水系、揖斐川取水の農水（揖西用水）排水、地下水（水道・農業・水産・工業用等）の排水（処理水）から成り、山地・森林が水源である一般的な河川の源と異にしています。それだけに、西濃の自然と人の暮らしは水の風土をたらしめているといえましょう。

大垣は、松尾芭蕉が元禄期に東日本の自然と里を歩き巡って編んだ「奥の細道」むすびの地でもあります。西濃地区での自然観察会（第1回）が無事終わり、皆さまに感謝を込めて3句。

曾根の池 破堤の跡ぞ 秋の水里
いかる鳴く 秋の水里 ハリヨ池
あきびより 池畔に集うまなこ達

西濃地方の水環境は、古来は東洋の思想・文化で記述され、近代からは西洋科学、工学・医学・実業等の視野も加わり、学術的、実務的研究も増えています。一方で、豊かな自然環境資源も人為が増す中で変化・変容の中にあります。21世紀を迎えた今日では、従来の見識の上に、新しい生態学的視野から、地球規模での環境問題、生物多様性保全の取り組み課題も繋がられます。

このようなことから、まだわずかな小さな観察活動の日々ですが、従来成果を活用し、追従するだけでなく、さらに新しい現実の観察情報や研究を積み上げ、有用な自然誌を紡ぎ、人々が共有できる資源であることを啓発していく必要があるように思っています。豊かさの中で自然環境の変化を見過ごすことなく、今後の地域の自然環境要素、人の暮らしとの関係を考え、次世代に伝えていくことも重要な時期にあるのではないかと思う次第です。

以上、ご参加の皆様、水の里の自然ご体験へのお礼の前書きが長くなってしまいました。水の里のワンダーな世界に、多少ともご関心を頂ければ幸いです。観察会の開催には、当日の天候が要件です。今回は晩秋・初冬境目の秋の空で前日のような曇天・冷たい時雨が心配されましたが、お陰様で穏やかな晴天で観察日和になり、ガイドさせていただくにも助かりました。一週間前の下見の時も含めて、当日の観察で、私も先生や皆様に現地で確認したこと、教えていただいたことが多くありました。種名の間違ひも正せました。独学の限界です。集まれば得意分野もあって総合力になります。地元の保存会の協力参加・説明にも助けられました。特に、池周りの草刈り清掃と池のハリヨ等を掬ってミニ水槽やバケツで見られるようにして頂いたこと、閉会後の昼食・交流の場として公民館を開けていただいたことなどのご配慮には、誠に感謝申し上げます次第です。

観察中に私が撮りました写真10枚（次ページ参照）を、千藤先生等に送信させていただきます。ご紹介いただければ幸いです。なお、私のデジカメレンズが汚れていたため、真ん中付近の湯煙風のボケがあります。この点お詫び申し上げます。当日、参加者に配付させていただきました資料を見返してみますと、まだ解説不備な事項（質問頂いた部分の解説など）、図版の一部に修正すべき点（地図範囲のズレ）が見

つかったりしました。近日中に千藤先生に修正版を送信しておきます。また、開催結果レポート（PDFファイル）を千藤先生等へ送信することも考えています。レポート化作業は他用もあって年越しになりそうです。私も今回の開催をよい機会と考えて、健康なうちにできる範囲で、次のステップに活動を展開したいと思います。

またの機会に四季の水の里地の有様を観察いただければまた幸いです。皆様と自然観察の語らいを、今後ともよろしく願いいたします。

令和6年12月3日

ガイド 野田賢司（神戸町）



写真1 曾根の池（11月29日、カルガモ28羽）



写真2 開会（中：井上先生、左：福田さん、16名）



写真3 曾根の池西岸畔観察時の集合写真（ヌートリアの昼寝場所、草叢にイナゴがまだ多く見られた。）



写真4 ハリヨの池の観察（北西岸から）
（地下水が供給されている。池の水温は13℃程。）



写真5 同池、曾根町ハリヨ・ホテル保存会の林正弘さんがハリヨの生態と保護活動を説明

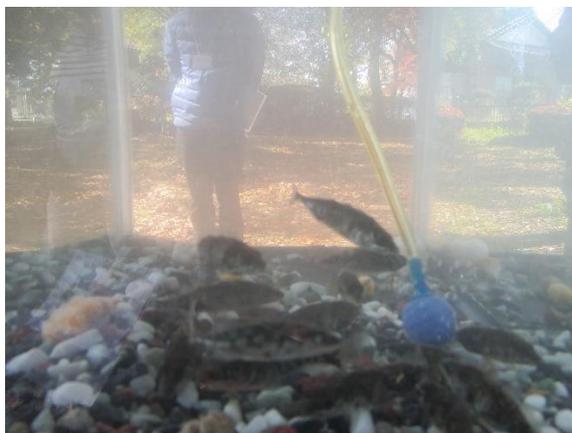


写真6 同池のハリヨをミニ水槽で観察



写真7 同池に侵入したウキゴリ (ハゼ科)
雑食性でハリヨの厄介者 (後ろはザリガニの肉)



写真8 ザリガニとモクズガニ
(岸辺に仕掛けた捕獲網からバケツに移したもの)



写真9 ハリヨ池の観察 (南西岸から)
(曾根城本丸堀址、ハリヨ保全に市が池を整備した)



写真10 華溪寺 (曾根城本丸址) 門前
自噴井の排水水辺でバイカモ等観察

(付録)



写真11 平野井川の水辺植生・沈水藻類



写真12 曾根町東部の排水路 (自噴井の下流)
川や池の付着藻類・動植物プランクトン



写真13 同右上、バイカモ、花



曾根の池 曾根の池 東部の排水路

写真14 顕鏡：緑藻のアオミドロ、トンボ幼虫

(2024.10 撮影写真・文：野田)